



きたおか こうむてん

北岡工務店 ニュース

いつも北岡工務店ニュースをご愛読ありがとうございます。

前回に引き続き、工務店ニュース担当Mのリフォーム体験記をお話します。**(有)北岡工務店ならではの大規模なリフォーム工事**です。解体から3ヶ月半、平成18年12月10日、家族の待ちに待った建方・上棟式が行なわれました。古い方の屋根の葺き替えも同時進行で行なわれました。屋根工事については、来月号でご紹介いたします。

『我が家の屋敷林（防風林）を使ったマイホーム』 第5弾

いよいよ建前（建方）・上棟式です！

建方（建前）

従業員の大工が、一生懸命刻んでくれた木が運び込まれました。少し小雨が降っていたので、私たちはケガのないように祈りながら眺めていました。父（長男 66歳）伯母（長女 81歳 次女 71歳）たちは、我が家の屋敷林（防風林）と一緒に育ったので、亡き祖父のことや、小さい頃、屋敷林に水をあげていた思い出話をしながら、この木を生かしてくれた**(有)北岡工務店**に感謝していました。



掛け矢の音とかけ声が響きます



古い家と新しい家の合体部分



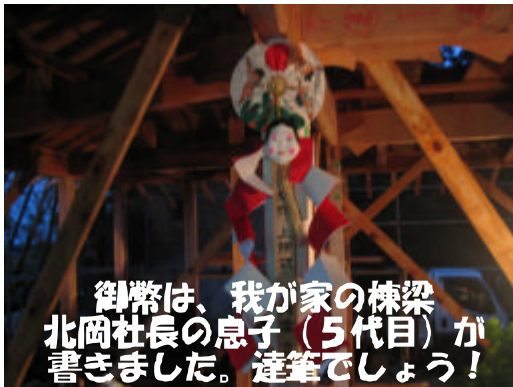
6～7割の構造材は我が家の防風林です。節がたくさん見えるのはM家の印
大きい杉は、節がなく35cmの梁になった部分もありました（自慢！）

じょうとうしき
上棟式

むねあげしき
棟上げ式とも言う

上棟式とは、建物の守護神と匠の神を祀って、棟上げまで工事が終了したことに感謝し、無事、建物が完成することを祈願する儀式です。地域によっては、餅やお金（硬貨）をまくところもあります。同時に御幣（棟札）に上棟年月日・建築主などを書き、棟梁が一番高い棟木に取り付けます。本来は棟梁自身が建物が完成するまで、災いが起こらないように祈願するものですが、現在は、施主が工事関係者に気持ちよく仕事を進めてもらう為のおもてなしが強くなっていて、簡素化・省略化される傾向にあるようです。

我が家は、夕方、屋根が出来上がると上棟式が行われました。大黒柱に御幣を取り付け、社長が四隅の柱に緑の葉で、水をまき清め、お酒と塩をまき天地四方の神を拝みます。お供え物として、酒・塩・山の幸・海の幸・里の幸・果物・お米などをお供えしました。社長が祝詞をあげ、家族・親戚一同参拝しました。



御幣は、我が家の棟梁
北岡社長の息子（5代目）が
書きました。達筆でしょう！



北岡社長が祝詞をあげている様子



お供え物
お米と野菜は我が家の産物です



←上棟式終了後 大工一同 ホット一息の瞬間
施主の父より感謝の気持ちを一人一人に手渡す

つづきは、来月号にて！

当工務店では、天然素材を使用し、新築・増改築から棚板一枚まで承りますので、お気軽にご連絡下さい。

ご質問は
建設マスター
北岡好夫まで！

有限会社 北岡工務店

〒930 - 0916 富山市向新庄町 8 丁目 4 番 5 6 号

Tel 076-451-5262 Fax 076-451-4325

携帯番号 090-3764-9328 （北岡）

E-mail kitaoka@sirius.ocn.ne.jp

URL <http://kitaoka-k.com/>

ライフガード 代理店

防災・防犯フィルムのお見積りは随時無料です。
どうぞ お気軽にご相談下さい！